

科目区分	専門教育科目	科目名	医事コンピュータ		科目コード	18L700	担当者	濱口 なぎさ			
対象学生	ビジネス・医療秘書コース 2年生		学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		選択			
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大○、中○、小△）					
コンピュータによるレセプト作成の基礎を理解する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	日本医師会推奨のレセプトソフトORCAについて理解する										
2.	ORCAによる基本的なレセプトソフトが行える										
3.	レセプト作成に必要な用語について理解する										
4.	手書きレセプトとの違いを理解する							◎	○	◎	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（80%） 受講態度（20%）					
1人1台のパソコンを使用し、演習形式で実施する。											
準備学修						課題等への対応					
1年後期の集中講義「医療事務論」で学んだ内容を復習しておくこと。点数表はインデックス（見出し）を付けておき、必要な情報がすぐに見られるようにしておくこと。次回までに30分～60分程度、点数表の該当箇所を確認し、早見表との違いを確認しておくこと。						提出物は教員がチェックした上で返却し、授業内で具体的なポイントを解説する。					
授業計画											
第1回	ガイダンス、レセプトコンピュータの概要										
第2回	点数表の見方、レセプト作成の手順										
第3回	患者登録										
第4回	レセプト作成に必要な専門用語・略語										
第5回	レセプトの作成（整形外科 国保）										
第6回	レセプトの作成（整形外科 国保）										
第7回	レセプトの作成（内科 社保から国保への切り替え）										
第8回	レセプトの作成（内科 社保）										
第9回	レセプトの作成（内科 後期高齢者）										
第10回	レセプトの作成（精神科・眼科 生活保護）										
第11回	レセプトの作成（整形外科 自賠責）										
第12回	レセプトの作成（整形外科 労災）										
第13回	レセプトの作成（外科 自費）										
第14回	手書きレセプトとの比較										
第15回	レセプト作成の要点確認										
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「医科診療報酬点数表」「医学一般」「診療報酬請求の実務」				受講生へのメッセージ	手書きでレセプトを作成できることが前提です。点数表の見方など診療報酬請求の基本を理解した上で授業に臨んでください。					
参考書等	「Q&Aでわかる【医療事務】実践対応ハンドブック」										